

上野殿御返事

弘安元年閏一〇月一二日 五七歳

芋芋のいも一駄・柑柑子子籠籠錢錢ごごに六百のかわり御御ぎのむしろ十枚給給び了了んぬ。

去去今年今年は大大えき此此の国国にををこりて、人人の死死ぬる事事大大風風に木木のたうれ、大大雪雪に草草の折折るるがごとし。一人一人ものこるべしとも見見へず候候ひき。しかれども又又今年今年の寒寒温温時時にしたがひて、五穀五穀は田畠田畠にみち草木草木はやさんにおひふさがりて堯堯舜舜の代代のごとく、成劫成劫のはじめかともみへて候候ひしほどに、八月八月・九月九月の大大雨雨大大風風に日本日本一同一同に熟熟らず、ゆきてのこれる万民万民冬冬ををすごしがたし。去去ぬる寛喜寛喜・正嘉正嘉にもこえ、来来たらん三災三災にもおとらざるか。自界自界叛逆叛逆して盗賊盗賊国国に充満充満し、他界他界きそいて合戦合戦に心心をつひやす。民民の心心不孝不孝にして父母父母を見る事事他人他人のごとく、僧尼僧尼は邪見邪見にして狗犬狗犬と猿猴猿猴とのあへるがごとし。慈悲慈悲なければ天天も此此の国国ををまぼらず、邪見邪見なれば三寶三寶にもすてられたり。又又疫病疫病もしばらくは止やみしてみえしかども、鬼神鬼神かへり入入るかのゆへに、北国北国も東国東国も西国西国も南国南国も、一同一同に病やみ歎なげくよしきこへ候。

かゝる世よにいかなる宿善宿善にか、法華經法華經の行者行者をやしなわせ給給ふ事、ありがたく候候ありがたく候。事々事々見参見参の時時申申すべし。恐々恐々謹言。

のちの
後十月十二日

日 蓮 花 押

上野殿御返事